

6月20日発売

〈対象：小学校高学年～大人まで〉

影書房・新刊のご案内

ナチスに**禁書**にされた傑作児童文学の**初邦訳**。戦後**東西ドイツ**で**ロングセラー**!



●装丁・挿絵：桂川 潤

定価1,800円+税

978-4-87714-463-0 四六判並製 291頁

●著者について

アレクス・ウェディング (Alex Wedding)

1905年オーストリア・サルツブルク市に生まれる。1931年本作『エデとウルク—少年と少女のための物語』を、36年『北極海はよぶ』を、戦後に児童文学作品8冊を刊行。ナチス政権時には、彼女も夫も共産党員でユダヤ系であったため、ニューヨークへ亡命した。

本作はナチスによって発禁にされたが、戦後は版を重ね、1972年には旧東ドイツの5年生の必読図書に選定、著者の生誕100年にあたる2005年には、ベルリンのノイエス・レーベン出版社から新版が発行された。

●訳者について

金子マーティン (かねこ・まーていん)

1949年イギリス・プリストル市生まれ。78年ウィーン総合大学で哲学博士号を取得。91年から日本女子大学人間社会学部現代社会学科教員。

主な著訳書：『ロマ 生きている炎 少数民族の暮らしと言語』(編訳、彩流社)、『あるロマ家族の遍歴 生まれながらのさすらい人』(編訳、現代書館)、『シンティ女性三代記(上・下)』(編訳、凱風社) 他。

●解説者について

崔 善愛 (チェ・ソンエ)

1959年生まれ、北九州市出身。ピアニスト。主な著書：『十字架のある風景』(いのちのことば社)、『父とショパン』(影書房) 他。

アレクス・ウェディング著／金子マーティン訳・解題

エデとウルク

～1930年 ベルリンの物語～

舞台はベルリンの労働者街。
ガールフレンドは、「ジブシー」の少女。

みんなが生きていたころ、
ナチスが政権をとる直前の時代のお話。

ナチスは、ロマ民族を、ユダヤ民族と同様に「劣等人種」などとみなし、強制収容所へ送り、虐殺した。『エデとウルク』に登場する11人のロマのうちホロコーストの生存者は1人のみ。本書では、ナチス時代のロマ民族について、訳者による詳細な解題を付した。

解題 金子マーティン「ウルクたちのその後」

解説 崔 善愛「『エデとウルク』とわたしたち」

〈主な登場人物〉

- エデ＝歯がぬけたところからつばを吐いてまともに命中させるのが得意。
- ウルク＝「ジブシー（ロマ）」と呼ばれる少数民族のおてんばな少女。
- マクセ＝エデの親友。父親はストライキ中の工場でピケをはっている。
- マーティン・シュペルリング＝エデの父。工場をクビになって機嫌が悪い。
- ヌツァ＝ウルクの祖母。ネコのブラッピを飼っている。葉巻を吸う。
- ヌッキ＝ウルクの伯父。手の甲の青い伝書鳩のいれずみが自慢。

—ご注文書—

*書店様記入欄 [取次番線・コード印]	アレクス・ウェディング 著／金子マーティン 訳・解題／崔善愛 解説 定価1,800円+税
	エデとウルク—1930年 ベルリンの物語
	ISBN : 978-4-87714-463-0 冊
お客様氏名 :	電話番号 :
ご住所 : 〒	
【ご担当名 :	】

影書房

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-3-15 TEL:03-6902-2645

http://www.kageshobo.co.jp/

FAX:03-6902-2646

※ご注文の際は、上にお名前・住所・電話番号・注文冊数をご記入の上、最寄りの書店にお持ち頂くか、小社へ直接ご注文下さい。